

対象事業の名称：県道22号（横浜伊勢原線）拡幅整備事業

● 環境配慮検討書の概要

事業の概要	事業の種類	県道の改築
	計画内容	位置：起点 海老名市本郷地内 終点 海老名市門沢橋一丁目地内 構造：事業延長L=約2.1km 標準幅員W=25m 車線数 4車線
	目的	県道22号線は横浜市磯子区の国道16号交差点を起点とし、終点は伊勢原市の国道246号交差点までの延長約31kmの路線であり、神奈川県東西を結ぶ主要な一般幹線道路である。また災害時に重要な役割を担う緊急輸送道路にも位置づけられている。本事業区間は、大規模な事業者や工場、物流施設が多く立地しており、大型車の交通量も多いことから、慢性的に渋滞も生じている。圏央道や新東名へのアクセス道路としての機能を有することから、今後も交通量の増大が想定されている。そのため4車線化することで交通容量を増大させ、交通混雑の解消を目指すことを目的として、交通の円滑化をはかり、交通安全の向上や沿道環境の改善を図る。
	計画地の選定理由	本事業は海老名市本郷（用田橋際交差点）から海老名市門沢橋（東河内交差点）までの約2.1kmの現道区間を拡幅整備（片側2車線、両側歩道）するものであるが、起点側の丘陵地には落葉広葉樹林、竹林が存在するため、改変範囲が最小限となるよう平面線形及び縦断勾配を決定した。現況道路を最大限に活用することから、他の区間においても改変範囲は最小限としている。
自然・社会環境的要素		
植物・動物・生態系		
	緑の保全 又は緑化	調査設計を進める中で、必要に応じて周辺の自然環境に配慮した緑化の方針を定める。
景観		
文化財		
日照障害		
公害防止的要素		
大気汚染		
<p>工事期間中は交通渋滞を最小限に抑えるために、工事車両は交通集中時を回避する対策を講じる。土工事や土砂運搬により発生する粉塵等については飛散を防止するため散水等の対策を講じる。建設機械は排出ガス対策型建設機械を使用し、ディーゼル車はディーゼル車の運行規制に合致した車両を使用する。計画路線供用開始後に走行する車両による窒素酸化物などは道路交通網が整備されることにより周辺一帯としては環境改善につながる。</p>		

環境 配 慮 の 内 容	土壌汚染	汚染土壌の掘削等を行う場合は、必要に応じ、関係機関と調整のうえ、関係法令を遵守し、適切に処理を行う。
	騒音	低騒音工法の採用や低騒音型建設機械の使用、建設機械の適切な配置等に配慮し、周辺的生活環境に対する影響を最小限にとどめる。計画路線供用開始後に走行する車両による騒音については高機能舗装（排水性）を採用することや歩道を広げることにより騒音の低減を図ることで周辺一体としての環境改善につなげる。
	振動	低振動工法の採用や建設機械の適切な配置等に配慮し、周辺的生活環境に対する影響を最小限にとどめる。計画路線供用開始後に走行する車両による振動については、舗装下の土地の強さに応じた舗装厚とすることや舗装面の段差が生じないように維持管理を行う等、適切な措置を講じる。
	防災・安全確保的要素	
	交通	
	渋滞	工事中は、交通渋滞を最小限に抑えるため工事車両は交通集中時を回避する対策を講じる。
	安全	工事中は、必要に応じて交差部に防護柵や標識などの交通安全施設を設置するとともに交通誘導警備員を配置するなどの対策を講じる。工事車両は通学路や通学時間帯を配慮しながら計画的な運行に努める。
	地震対策	
	地球規模等の環境要素	
	省資源	事業で用いる資機材の選定については「県土整備局公共事業グリーン調達基準」に基づき、環境物品等の使用を推進する。「建設廃材の処理及び再生材に関する事務取扱要領」を考慮し、舗装材として再生砕石や再生アスファルトを使用する。
省エネルギー	道路照明には省エネルギー型の使用に努める。	
温暖化防止		
水循環		
廃棄物	コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は指定工場へ搬入し、再資源化する。工事に関連して発生する事業系一般廃棄物については発生抑制を図るとともに分別集積し、資源の有効利用に努める。	
発生土	当該事業や他事業における盛土材等への利用を促進し、発生土の抑制に努める。処分せざるを得ない発生土については指定処分により適正処理の徹底を図る。	

● 審議結果通知書及び措置状況報告書の概要

通 知 事 項	措 置 状 況
<p>1 環境配慮の内容等について見直しが必要と認められる事項 なし</p> <p>2 基本計画の策定にあたり考慮すべき事項 なし</p> <p>3 その他 「貴重種・生態系の保全」については、改変範囲を最小限にとどめ、当該地等に貴重種の存在が確認された場合には、学識経験者の指導等を基に自然環境に配慮した工事を行うこと。</p> <p>「騒音」について、工事中及び供用開始後において騒音の低減化を図るよう努めること。</p>	<p>貴重種の存在は確認されていない。</p> <p>騒音の低減化に努めた。</p>